

# JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会

## 開催要項

- 1. 主 旨** 日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。この趣旨を受けて、公益財団法人北海道サッカー協会として本大会を実施し、JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会決勝大会(平成30年12月25日(火)～29日(土))に北海道代表として出場するチームを決定する。
- 2. 名 称** JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会
- 3. 主 催** 公益財団法人 日本サッカー協会、公益財団法人 北海道サッカー協会、公益財団法人 日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団 読売新聞社
- 4. 主 管** 公益財団法人 北海道体育協会 北海道スポーツ少年団、苫小牧地区サッカー協会
- 5. 後 援** 北海道 北海道教育委員会、公益財団法人 北海道体育協会、札幌テレビ放送、苫小牧市、苫小牧市教育委員会、公益財団法人苫小牧市体育協会、日本テレビ放送網、報知新聞社
- 6. 特別協賛** YKK(株)、花王(株)
- 7. 協 賛 (調整中)** 日本マクドナルド(株)、(株)日清製粉グループ、日清オイリオグループ(株)、ゼビオ
- 8. 開催協力** (株)モルテン
- 9. 日程・会場** 平成30年10月6日(土)、7日(日)、8日(月・祝)  
(会場)苫小牧緑ヶ丘公園サッカー場(人工芝)  
6日(土) 代表者会議9:00 開会式9:30 1回戦8試合  
7日(日) 準々決勝4試合 準決勝2試合  
8日(月・祝) 決勝11:00 閉会式(決勝戦終了後) 3位交流戦
- 10. 参加資格**
  - (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。別に定める地区割り当てにより所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
  - (2) 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
  - (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
  - (4) 「同一参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
  - (5) 女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。ただし、前項(3)は適用される。
  - (6) 「参加チーム」及び「参加選手」は、各地区の代表となったチーム・選手とする。北海道大会1次登録選手20名の中には、地区・ブロック大会で敗退した「加盟チーム」内の選手を補充することができる。
  - (7) 「参加チーム」はU-12リーグに参加していること。
  - (8) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
  - (9) 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
  - (10) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。
- 11. 参加チームとその数**
  - (1) ○札幌ブロック～4チーム、  
○道央ブロック(千歳・空知、北空知)～3チーム、  
○道南ブロック(函館・室蘭・苫小牧)～3チーム  
○道東ブロック(十勝・釧路・根室・網走)～3チーム  
○道北ブロック(旭川・道北・宗谷)～3チーム 計16チームとする
  - (2) 本年度の開催地である苫小牧地区協会には代表枠1を与える。
- 12. 大会形式** (1) 16チームによるノックアウト方式にて行う。
- 13. 競技規則** (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

#### 14. 競技会規定

- (1) 競技のフィールド  
競技のフィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。  
その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。  
(ペナルティエリア:12m ペナルティマーク:8m ペナルティアーカの半径:7m)  
ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。  
※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。  
交代ゾーン:自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける(ハーフウェーを挟んで3mずつ)
- (2) ボール(調整中)  
モルテン社製『ヴァンタッジオ5000キッズ(F4V5000-R4号球)』とする
- (3) 競技者の数  
競技者の数:8名(8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する)  
交代要員の数:8名以内  
交代を行うことのできる数:制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)
- (4) ベンチ入りするチーム役員の数:2名以上3名以内とする。  
1名以上が(公財)日本サッカー協会公認資格(D級以上)を有すること。  
登録した役員の中から大会時にベンチ入りする役員を報告する。
- (5) 審判員  
主審、副審(2人)、予備審判の4名で運営する。
- (6) テクニカルエリアは設置する。  
※その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を与えることができる
- (7) 競技者の用具・ユニフォーム  
①(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程(2016年4月1日施行)に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。  
第5条[ユニフォームへの表示]※該当のみ抜粋  
・ GKグローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示  
・ 両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅  
(10cm から 8cm に変更)  
・ 同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離  
②Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑧に準じる。  
③ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別し  
やすいユニフォームを参加申込書(WEB登録)の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。本協会に登録されたものを原則とする。  
④シャツの全面・背面に参加仕込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。  
⑤選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。  
⑥ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。  
⑦ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。  
⑧ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会 第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2018年12月17日(月)までに本協会に承認された場合にのみ認められる。  
  
※(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。
- (8) 試合時間  
① 試合時間は40分(前後半各20分)とする。  
ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで):原則10分間  
② 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、準決勝及び決勝戦では10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。  
延長戦に入る前のインターバル:原則5分  
ペナルティマークからのキックに入るまでのインターバル:原則1分  
③ アディショナルタイムの表示:行う

- (9) 交代の手続き  
 ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。  
 ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。  
 ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。  
 ④ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。  
 ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。  
 ※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

- (10) 負傷者の対応  
 主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。

15. 懲 罰

- (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。  
 (2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。  
 (3) 大会規律委員会の委員長は、(公財)北海道サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。  
 (4) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。  
 (5) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。  
 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。  
 (6) 本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては、大会規律委員会にて決定する。

16. 大 会 参 加 申 込

- 一次登録はチーム当たり26名（役員6名・選手20名）を最大とする。  
 「参加チーム」は必要事項を記入し、参加申込書（1次登録）を以下に送付する。役員のうち1名を監督とする。  
 (1) 参加申込書・プライバシーポリシー同意書の提出  
 所定の用紙をEメールで申込先A宛に提出する。  
 ※申込を受けた地区協会はKICKOFFにて登録状況を確認し、申込先BおよびC宛に申し込みデータを提出すること。Bへはプライバシーポリシー同意書も提出すること。  
 (2) 大会参加料(21,600円)の納入 申込締切日までに下記指定口座に納入する。  
 (3) 親権者同意書の提出 郵送で申込先B宛に送付する。  
 (4) 選手変更・追加登録は、所属地区協会を通じてEメールにて申込み先Bに届け出のこと。平成30年9月27日(木)必着。  
 (5) 参加申込締切 平成30年9月25日(火) 17:00  
 (6) 「参加チーム」は最終登録として1次登録した指導者6名の中から2名以上3名以下・選手20名の中から16名を、10月6日(土)開会式当日の監督会議の際に報告する。

【申込先】 A:所属地区サッカー協会  
 B:公益財団法人 北海道サッカー協会  
 〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41  
 北海道フットボールセンター内  
 TEL011-825-1100 Fax011-825-1101  
 C:苫小牧地区サッカー協会  
 〒053-0022 苫小牧市表町3丁目1-12第2CKビル4F  
 TEL 0144-82-9561 Fax 0144-82-9562  
 Eメール tomakomai-fa@sunny.ocn.ne.jp

【大会参加料及び審判不帯同料納入口座】

・大会参加料 21,600円(消費税込)  
 ・審判不帯同料 16,200円(消費税込)  
 銀行名 苫小牧信用金庫 市役所出張所  
 口座名 苫小牧地区サッカー協会 会長 明村 享(あけむら きょう)  
 口座番号 (普通)1002886

17. 参 加 料 21,600円

18. 選 手 証 出場チームは(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の確認できるものであること。  
 \*選手証とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

19. 組 合 せ 平成30年9月25日(火) (公財)北海道サッカー協会において行う。  
(公財)北海道サッカー協会 HP情報・4種にて確認のこと。
20. 帯同審判員 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会審判員(2級以上)を帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。  
(2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。(監督が帯同審判員を兼ねることはできない)  
(3) 帯同できない場合は、不帯同料として16, 200(税込)円を大会参加料と同時に納入すること。
21. 監 督 会 議 平成30年10月6日(土) 9時より大会本部において行う。監督は必ず出席のこと。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。
22. 開 会 式 平成30年10月6日(土) 9時30分より大会本部前において行う。選手・監督は全員参加すること。参加しない選手は大会への参加を停止することもある。
23. 閉 会 式 平成30年10月8日(月・祝) 決勝戦終了後 大会本部前において行う。準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することとする。
24. そ の 他 (1) 優勝チームは道協会のホームページで写真入りで紹介する。  
(2) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。  
(3) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会実運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長などで構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。  
(4) 全国大会への出場権は北海道大会で優勝チーム・選手に与えられる。当該チームの北海道大会での登録数が16名に満たない場合は、同一クラブ内の選手から補充することができる。

以上